



## Informatica が Tridion Docs でグローバル市場への投入を迅速化

[www.informatica.com/jp](http://www.informatica.com/jp)

業界：分析テクノロジー

本社所在地：

カリフォルニア（米国）

### ソリューション：

Tridion® Docs

翻訳管理テクノロジー

Antenna House Formatter

**Informatica Corporation は、テクニカルライティングの XML 規格である DITA と Tridion Docs を使用して、従来のブックベースのコンテンツ作成モデルを、より迅速で効率的なプロセスに移行させることに成功しました。**

グローバル市場への投入期間の短縮とローカリゼーションの効率化を目指し、Informatica は、主要言語 4 つの文書化におけるコンテンツライフサイクル全体の管理に、構造化コンテンツ制作/パブリッシングプロセスを導入しました。同社はわずか 7 か月で高い ROI を達成し、製品ドキュメントの市場へのリリースまでにかかる時間の短縮に成功しました。

### 背景

Informatica Corporation は、企業データ統合テクノロジーのパイオニア企業です。同社のソフトウェアを利用する組織は、所有する情報資産にアクセスし、これを統合して活用できるため、今日のグローバルな情報経済において競争上の優位性を確保できます。Informatica のソリューションは、エネルギーおよび公益事業、製造、金融サービス、政府および公共機関、医療、通信、運輸、生命科学、保険など、あらゆる業界で採用されています。

どの業界でも、Informatica の顧客は常に、規制、民営化、統合による継続的な変化の影響を受けています。グローバル企業では、大量のデータが絶えず生成されているため、常に変化し続けるデータ資産の管理という固有の課題に対処しなければなりません。Informatica の顧客は、増え続ける法規制に準拠し、変化の激しい市場に迅速に対応する必要があります。顧客のニーズに対応するための熱心な取り組みが評価され、前例のない成長を遂げている Informatica は、その優先事項の 1 つとして、グローバルな顧客への製品投入の迅速化を挙げています。

**「当社は RWS のような企業から確実なサポートを得ることで、古い業務推進方法から、はるかに戦略的で効率的な方法へと、とてつもなく大きな、破壊的とも言える移行を果たすことができました。RWS のチームは、当社が操作方法をすばやく習得できるように一貫してサポートし、このプロジェクトを大成功に導くうえで重要な役割を果たしてくれました」**

**Robin Rielley 氏**  
Informatica Corporation、  
Documentation 部門  
Senior Director

## ビジョンとソリューションの定義

Informatica のドキュメントチームは、ニーズを徹底的に洗い出すために、従来のブックベースのドキュメント作成およびローカライズプロセスの評価を実施しました。その結果、デスクトップパブリッシングのコストと翻訳にかかる時間が原因で、顧客が必要とする大量の製品マニュアルやヘルプデスクシステムを迅速かつ正確に提供することができていないと判断しました。テクニカルコンテンツの制作、さまざまな形式でのパブリッシュ、世界中の複雑な言語への翻訳といったプロセスは、面倒で非効率な作業になっており、予算を圧迫し、市場投入期間を遅らせていました。現行のプロセスでは必要な期限に間に合わせることができず、新規市場からの収益を拡大することができない可能性がありました。

Informatica の R&D Globalization 部門 Director である Martin Levy 氏は、デスクトップパブリッシングをローカリゼーションプロセスから一切排除し、英語とその他の言語での製品とマニュアルの同時リリース（「SimShip」）を可能にするプロセスの採用に踏み切ったと語っています。そのため、Levy 氏と Informatica の Documentation 部門 Senior Director である Robin Rielley 氏は、複数言語でのドキュメント作成のコンテンツライフサイクル全体を効率化するという目標を立てました。

Levy 氏は語ります。「Tridion Docs によって採算が取れるであろうことは明白です。デスクトップパブリッシングを全廃することで、1 ページあたり 6 ドル近く節約しています。1 言語につき 1 万ページ以上と考えると、大幅なコスト削減です。同時に、製品を市場に投入するまでの時間を大幅に短縮することができました。これは収益機会の全般的な向上につながるはずです」

Informatica ではすでに RWS の翻訳管理テクノロジーを採用しており、上流工程を制作/コンテンツ開発システムに拡張することで、このシステムの効率性をさらに拡大したいと考えていました。

Levy 氏と Rielley 氏は、成功事例の傾向を調査した結果、テクニカルコミュニケーションの XML 標準である DITA を使用して、構造化コンテンツ制作とパブリッシングのプロセスに移行することで、この目標を達成できると判断しました。チームの主要な目標は、コストを削減し、製品をグローバル市場に投入するまでの時間を大きく短縮することでしたが、彼らは、DITA によりコンテンツ再利用の促進、翻訳コストの削減、複数言語での SimShip が可能になると結論付けました。数々のベンダーソリューションを評価した結果、プロセスを効率化し、世界中の顧客向けにテクニカルドキュメントを準備するコストを削減するために、Tridion Docs を選択しました。

**「DITA および Tridion Docs から得た最大のメリットは、デスクトップパブリッシングのコストを完全に排除できたことです。その結果、発行のたびにプロジェクトあたり4万～5万ドルのコスト削減を実現できています。また、当社は社内で発行を行っているため、プロセスを完全に制御することができ、さらに効率が高まっています」**

**Martin Levy 氏**

Informatica Corporation、  
R&D Globalization 部門  
Director

ブラジルでの製品導入プロジェクトの進行中、Levy 氏と Rielley 氏は、構造化コンテンツへの移行だけでなく、7 か月足らずで1万ページのドキュメントを英語とポルトガル語の2言語で制作するという厳しい作業にも取り組んでいました。それまでは、英語でドキュメントを制作した後、別の言語に翻訳されるまで6～9か月の時間がかかっていました。それが、Tridion Docs の導入により初めて、英語とポルトガル語の同時リリースを実現できたのです。これは素晴らしい成果でした。この最初の SimShip プロジェクトでは、ユーザーマニュアル、ユーティリティマニュアル、リファレンスガイド、インストールガイド、プラットフォームガイド、ワークフローガイドなど、約70種類のドキュメントセットが制作されました。

RWS の翻訳管理テクノロジーによって翻訳プロセスを管理し、Informatica の翻訳資産を一元化することで得ていたメリットが、Tridion Docs によってさらに広がりました。RWS の包括的な統合製品ラインと強力なテクニカルサポートのおかげで、構造化コンテンツへの移行時に発生したいくつかの障害をうまく乗り越えることができたこと、Rielley 氏は言います。彼女の次の計画は、英語と日本語での1万ページのパブリッシングと SimShip を達成することです。



## 課題

- ・ 収益向上のため、グローバル市場への対応を迅速化する
- ・ 複雑な製品情報の公開に要する時間を短縮する
- ・ DITA に移行し、多言語ドキュメントの複雑なライフサイクルを簡素化する
- ・ 開発サイクル短縮のニーズに対応する
- ・ さまざまな言語でコンテンツを再利用する
- ・ 旧式のパブリッシングテクノロジーと置き換える

## メリット

- ・ グローバル製品の市場投入期間を短縮
- ・ 企業全体で一貫性が確保され、顧客体験が向上
- ・ 複数の製品ラインでのコンテンツの再利用を促進
- ・ グローバル翻訳コストを削減
- ・ 複数言語での製品ドキュメントの SimShip を達成
- ・ 多言語環境での翻訳管理の品質と一貫性を向上

## その他のケーススタディ：

[rws.com/jp/customers](https://www.rws.com/jp/customers)

### RWS について

RWS Holdings plc は、テクノロジーを駆使した翻訳サービス、コンテンツ管理サービス、知的財産サービスを提供するリーディングプロバイダです。RWS は、ビジネスに不可欠なコンテンツを大規模に配信し、イノベーションの保護と実現を可能にすることで、お客様が世界中の人々とつながり、新たなアイデアを提供することを支援します。

私たちのビジョンは、グローバルインテリジェンス、深い専門知識、スマートなテクノロジーを通じて、言語、コンテンツ、市場参入における課題を解決することにより、世界中の人々と組織をつなぐ橋渡しをすることです。

当社の顧客には、グローバルブランド上位 100 社のうちの 90 社、製薬会社上位 10 社、世界中の大手特許事務所 20 社のおよそ半数が含まれています。また、クライアントベースは、ヨーロッパ、アジア太平洋、北南米に広がり、テクノロジー、製薬、医療、法律、化学、自動車、行政機関、電気通信の各分野を網羅しており、5 つの大陸に複数のオフィスを構えています。

1958 年に設立された RWS は、英国に本社を置き、AIM、ロンドン証券取引所規制市場に上場されています (RWS.L)。

詳細については、[www.rws.com/jp](https://www.rws.com/jp) をご覧ください。

© All Rights Reserved. ここに記載されている情報は、RWS Group\* の機密情報および専有情報とみなされます。

\* RWS Group とは、RWS Holdings PLC およびその関連会社および子会社の代表を意味します。